

ロシア、極東金日成・金正日主義研究会の現段階の課題

ロシア、極東金日成・金正日主義研究協会会長
アナトリー・ニコライエヴィッチ・ドルガチェフ

ロシアと朝鮮は歴史的に形成され、絶えず発展してきた古くて緊密な関係をもっています。その性格は歴史的時期ごとに異なっています。

1917年、社会主義革命以後、ロシアに樹立された最初のソビエト政府は国家間の平和的關係と人民間の善隣協力関係を樹立しなければならないというところから出発しました。

日本軍国主義者の敗北と第2次世界大戦の終息は、統一的な民主朝鮮とソ連間の新たな国際主義的關係と行動の一致性、相互援助を発展させました。遺憾にも朝鮮半島の平和がみんなの気に入ったわけではありませんでした。アメリカ帝国主義は朝鮮人民に反対する戦争を引き起こしましたが、その戦争で破滅的な惨敗をこうむりました。しかし、朝鮮人民の敵は単一民族である朝鮮人民が互いに戦うようにし、北と南に分けることにより、朝鮮人民を弱化させました。

ソ連は新しい朝鮮建設を各方面で支援しました。しかし、1980—1990年代にソ連が直面した苦難と帝国主義勢力の圧力、M. S. ゴルバチョフとその一味の露骨な社会主義背信行為によってソ連や社会主義、人民政権は崩壊し、ロシア連邦と朝鮮民主主義人民共和国の間の兄弟的關係は断ち切られました。

このような過ちは漸次的に、ゆっくりと、そして難しく是正されています。

残念ながら今日、ロシアの大多数の新聞、「黄色出版物」の紙上では兄弟的な朝鮮人民と朝鮮民主主義人民共和国の状況にたいする正しい情報を見ることが難しいのです。

ロシア連邦に形成された朝鮮民主主義人民共和国と関連した情報の空白を補い、沿海辺境、極東全地域の住民の間で兄弟的な近隣である朝鮮人民にたいする友好的関係を維持することは極東地域の金日成・金正日主義研究協会を組織しながら共産主義者が提起した課題です。

この協会の組織者はロシア連邦共産党沿海辺境支部委員会第I書記であるアナトリー・ニコラエビッチ・ドルガチェフです。しかし、E. ラシェンコ、マクシム・スィンカレンコ、アルチョム・サムソノフをはじめとした彼の戦友たちが彼の活動を継承しています。

今日、協会はサハ共和国（ヤクチヤ）、沿海辺境、ハバロフスク辺境、アムール州、カムチャトカ州、マガダン州、サハリン州、ユダヤ人自治州をはじめとした極東の各地域に自己の影響力を拡大しています。2018年にロシア大統領の指示によってブラチヤ

共和国とザバイカリエ辺境が連邦区に所属されました。

現在、協会はさまざまな方向で自己の活動を設計しています。

第一の活動方向は組織活動です。今日、協会はカムチャトカとヤクチャ、マガダン、ハバロフスク辺境、サハリン、イルクーツク、ブラゴウエシエンスクと極東地域の他の都市とロシア連邦主体に自己の支部を置いています。

協会は青年たち、基本的にはレーニン共青員との活動に主な力を入れていますが、同盟の他の青年も協会の活動に参加しています。

第2の活動方向は朝鮮民主主義人民共和国との関係強化、交際活動です。

毎年、協会は青年だけでなく、極東連邦総合大学の学者と活動家、言論人をはじめ、インテリの代表を含む協会のメンバーで代表団を構成し、彼らが朝鮮と朝鮮労働党の歴史と朝鮮人民の偉大な領袖である金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の活動と関連した記念日、慶祝日を契機に朝鮮民主主義人民共和国を訪問するようにしています。

毎年のようにピオネルを朝鮮民主主義人民共和国の松涛園国際少年団野営所に送り、イエ・ラシェンコを団長とするある共青団体も朝鮮民主主義人民共和国を訪問して白頭山に登りました。

われわれは朝鮮社会学者協会を通じて科学実践及び理論討論会とチュチェ思想研究に関する国際討論会に参加しながら相互関係を維持しています。

わが協会のメンバーはサンクトペテルブルク（レニングラード）でおこなわれた国際討論会と他の学術討論会で討論しました。

協会は朝鮮民主主義人民共和国青年代表団の外国旅行活動を援助しています。

協会は朝鮮労働党中央委員会とロシア連邦共産党中央委員会間の代表団交流活動も協力しています。

第3の活動方向は宣伝活動ですが、これはわれわれの活動で基本部門となっています。

現在、この活動は主にマスメディア分野で行われています。

協会はウラジオストク駐在朝鮮民主主義人民共和国総領事館を通じて受けた印刷物と電子メディア、画帳そして朝鮮民主主義人民共和国を訪問する機会に購入してくる雑誌「朝鮮」と「今日の朝鮮」、朝鮮人民の偉大な金日成主席と金正日総書記、朝鮮労働党総書記金正恩同志の不朽の古典的著作を極東地域の青年の中に配布しています。

われわれは党出版物である新聞「プラウダ・プリモリヤ」に朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮労働党の歴史と現実態にたいする記事を系統的に載せています。

朝鮮の歴史と朝鮮民主主義人民共和国のチュチェ思想と先軍政治にたいする講義を体系的に行っており、青年の間に金日成・金正日主義にたいする知識を普及しています。

事例に、今年の5月と9月、共青員大会が開かれる間にゲンナジ・ペトロビチ・クリコフがそういう講義をおこない、また計画しています。

抗議活動は協会の重要な活動方向です。

協会の活動で大きな役割を果たすのは朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮労働党を支持する大衆的な抗議活動に参加することです。

実例にわれわれは朝鮮民主主義人民共和国の海岸近くでアメリカと南朝鮮傀儡がおこなった軍事演習に反対する講義デモを行いました。

ウラジオストク駐在アメリカ総領事館の前でアメリカの対朝鮮敵視政策に反対する抗議活動を組織しました。

こうした形態の活動は毎年、体系的に行われています。

協会の活動方向には朝鮮民主主義人民共和国で行われる歴史及び記念行事を支持する活動が含まれています。

ウラジオストク駐在朝鮮民主主義人民共和国総領事館を通じて朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮労働党の指導部に手紙と祝電を送る活動を行っています。

また、ウラジオストク駐在朝鮮民主主義人民共和国総領事館で組織する行事に参加します。

総領事館を定期的に訪問して情報を伝達され、現代の差し迫った問題にたいする意見交換などをおこなっています。

われわれは協会の活動で新しい源泉を探し出しています。

特に、われわれはインターネット空間をより幅広く掌握し始めました。

多様な活動方向と活動形式を通じて協会は情勢の変化に迅速に対処し、変わっていく青年たちの利害関係を掌握し、地域の住民にたいする自己の影響力を維持しています。

国際舞台でくり広げられている出来事はわれわれの活動に影響を及ぼしました。

それは何よりもまず「COVID-19」大流行病です。

この流行病は協会の活動にブレーキをかけ、人々間の接触を制限しましたが、それを断ち切ることはできませんでした。

われわれは非接触的な活動形式、つまり、インターネット空間をより広範に利用し始めました。

ロシア国慶節に際して朝鮮民主主義人民共和国国務委員長である金正恩同志がロシア連邦大統領ウエ・ウエ・プーチンに送る祝電は特別に広範なそして肯定的な反響を呼び起こしました。

祝電で朝鮮民主主義人民共和国国務委員長である金正恩総書記はロシア人民の勝利と親善協力関係の強化を願いました。

祝電の内容は次のようです。

「わたしはロシア連邦国慶節に際して朝鮮民主主義人民共和国政府と全朝鮮人民を代表してあなたとロシア連邦政府そして親善的なロシア人民にあたたかい祝賀を送り

ます。

強靱で英知に富んだロシア人民は長期間、広々とした大地の上に深く根を下ろし、誇らしい歴史と文化を創造し、強国の尊厳と威信を宣揚しながら誇り高い発展行路を歩んできました。

今日、国の主権と安全、平和な生を篡奪しようとする敵対勢力の増大する脅威と挑戦を粉碎するためのロシア人民の闘争はあなたの正しい決心と指導のもとに新たな転換的局面を迎えています。

正義は必ず勝利し、ロシア人民は自分に固有の伝統である勝利の歴史を引き続き輝かせていくでしょう。

わが人民は帝国主義者の強権と専横に立ち向かってロシアの主権的権利と発展の利益を守護し、国際的正義を実現するための聖なる偉業の遂行に総邁進している貴国人民に全的な支持と連帯を送っています。

歴史のあらゆる試練を乗り越えて世代と世紀を継いできた朝口親善はわが両国の大事な戦略的資産であり、新たな時代の要求に即して善隣協力関係を絶えず昇華、発展させていることは共和国政府の確固不動の立場です。

わたしは強国建設の雄大な目標を実現し、世界の平和と安全を頼もしく守護していく両国人民の共通の念願に答えて、あなたと固く手を取り、朝口間の戦略的協力をさらに緊密にしていく考えを確言します。

わたしはこの機会にあなたが健康で、責任的な活動でより大きな成果を収めることと親善的なロシア人民に常に繁栄と発展、勝利のみがあることを心から願います。

実にこれはロシア人民の心の中に刻み付けられる歴史的な書簡です。